

第3回女性活躍100人会議（7月13日 浜田市）

ていただいたご意見に対する県の対応

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
<p>再就職に際して、第2子、第3子の妊娠、出産のタイミング、子育て中の休みの取り方などを考えると、仕事をしながらの子育てについて心配になる。</p>	<p>女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、県に届け出た「しまね女性の活躍応援企業」については、女性が働きやすい職場環境づくりのために、休憩室やキッズルーム等を整備する経費の一部を助成する制度があります。</p> <p>今年度この制度の見直しを行い、来年度からは「しまね女性の活躍応援企業」かつ「しまね子育て応援企業（こっころカンパニー）」である企業等が行う女性活躍や仕事と子育て等との両立支援につながる取組に対して、経費の一部を助成する制度とし、経済団体や市町村等を通じて企業等に周知するとともに、経営者・管理職等を対象とし、ワーク・ライフ・バランス等をテーマとしたセミナー等を開催することにより、男性も女性も働き続けやすい職場環境づくりを進めてまいります。</p> <p>企業等が取り組む人材育成や就労環境の整備を支援し、女性や高齢者など誰もが働きやすい職場づくりを進めています。</p> <p>また、来年度から新たに、「時間単位の有給休暇制度」や「短時間勤務制度」の導入など子育てしやすい職場環境づくりに取り組む中小・小規模事業者等に奨励金を支給し、男女ともに育児と仕事の両立ができる職場環境づくりを支援していきます。</p> <p>今後も中小企業等に対して、こうした制度の周知を図り、企業等の職場づくりを支援してまいります。</p>
<p>産後すぐは車の運転もできず、孤立しやすい状況。訪問型の産後デイケアに市と連携して取り組みたい。産後鬱の早期予防にかかわっていくことを通じて孤立解消のきっかけづくりをお手伝いしたい。</p>	<p>来年度から新たに、市町村における産前・産後の一時的な育児・家事援助や産後の専門的なケアの充実を支援していきます。</p>
<p>子育ての経済的な負担に対する支援が厚いほど子どもを産むと思う。</p>	<p>令和3年度から子どもの医療費助成の助成対象を小学6年生まで引き上げ、県内どこでも小学6年生まで助成が受けられる環境づくりを進めます。</p>
<p>産後サービスなどワンオペに対する支援があれば、もう一人子供を産んでみようという気持ちになると思う。</p>	<p>来年度から、新たに、市町村における産前・産後の一時的な育児・家事援助や産後の専門的なケアの充実を支援していきます。</p>
<p>女性が子育てしながら活躍するためには、男性がもっと休める環境が必要。経済的な支援や社会全体で子どもを育てやすい雰囲気広まってもらいたい。</p>	<p>来年度から、新たに、「時間単位の有給休暇制度」や「短時間勤務制度」の導入など子育てしやすい職場環境づくりに取り組む中小・小規模事業者等に奨励金を支給し、男女ともに育児と仕事の両立ができる職場環境づくりを支援していきます。</p> <p>また、男性の家事・育児参加を促進するため、新婚夫婦への家事手帳、男性向けの育児手帳の配布や、ワークライフバランスを推進するためのセミナーの開催、「イクボス」の推進などにより、機運醸成を図ってまいります。</p>

<p>児童クラブの指導員の不足が問題。指導員が確保できれば、子どもを預けることが可能になる。</p>	<p>来年度から、放課後児童支援員認定資格研修の開催場所・回数を拡充するほか、新たに、スーパーバイザーが各クラブを巡回し、クラブ運営や人材確保などの相談に対し助言を行い、職場環境の改善により支援員の確保を推進します。</p>
<p>次男が通う幼稚園は園舎が築 60 年、隣接が築 110 年であり、耐震基準を満たしていない。幼稚園側は改修を希望しており、国補助 1/3 はあるが、県や市は陳情しても動いてもらえない状況。</p>	<p>国の耐震改築補助制度（1/3）に加え、学校法人の負担が 1/2 となるよう、来年度から、県による補助金の上乗せ制度を実施します。</p>
<p>自分たちの活動の中でお母さんからのアンケートを行っているが、その中で、以下のような意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①医療費助成を県内で統一して均等にして欲しい。 ②経済的理由で 1 人しか生めない。 ③産みたくても産めない。（不妊治療中） ④希望する場所の保育園に入れたい、望む保育をしているところに入れたい。 ⑤産後の鬱について、サポートが必要。 	<p>いただいたご意見に対して、来年度以降、次のような取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 3 年度から子どもの医療費助成の助成対象を小学 6 年生まで引き上げ、県内どこでも小学 6 年生まで助成が受けられる環境づくりを進めます。 ③来年度から第 1 子出生後の特定不妊治療に対する助成回数等を拡充します。 ⑤来年度から新たに、市町村における産前・産後の一時的な育児・家事援助や産後の専門的なケアの充実を支援していきます。

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
<p>公共交通機関がないため、車でないと移動できない。スクールバスはあるが、時間帯が違えば、結局迎えに行かざるを得ない。習い事のある人はさらに送り迎えが必要になり大変。</p>	<p>「小さな拠点づくり」を進めていく中で、地域の実情に応じた生活交通が確保されるよう、平成 28 年度に創設した「地域生活交通再構築実証事業補助金」により、予約に応じて運行するデマンド型運行の実証や、それに必要な車両の購入など、市町村の取組を支援しています。</p> <p>今後も、地域の実情にあった交通手段の確保に取り組む市町村を支援してまいります。</p>
<p>先般、女性活躍の表彰をいただいたが、西部ではそうした取組や意識が希薄な企業が多いので、企業が女性の思いを吸い上げるような仕組みを考えていくことが必要。</p>	<p>経済団体や女性団体等で構成する「しまね働く女性きらめき応援会議」では、企業等における女性活躍を推進するため、経営者や管理職を対象として、女性の管理職登用や、男性も女性も働きやすい職場づくりのためのセミナー等を開催しています。</p> <p>その他、経営者等を対象とした「人を大切にする経営」を学ぶ塾の開催や専門家の派遣などにより、職場の活性化に対する支援を行っています。</p> <p>また、女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む事業主等を表彰する「しまね女性活躍応援企業表彰」制度や、雇用に関し優れた取組を行う企業等を表彰する「しまねいきいき雇用賞」制度を設け、受賞企業の取組事例が県内企業等に広がるよう周知を図っています。</p> <p>引き続き、県西部においても職場づくりのためのセミナーを開催するほか、今後も、「しまね女性活躍応援企業表彰」及び「しまねいきいき雇用賞」等の制</p>

	度の周知を図り、女性活躍推進や職場改善を支援してまいります。
一旦東京に出て子育てした3年間は大変だったが、島根に帰ってきて本当に良かった。子育てしやすい島根県の良さをもっとPRしていければよい。	<p>インターネットやU I ターンフェアなどのイベントで、島根の豊かな自然をはじめ、子育て環境に関する情報提供をしています。</p> <p>また、島根での子育ての魅力を十分にお伝えできるよう、結婚・妊娠・出産・子育て総合ポータルサイトをリニューアルする予定です。</p> <p>今後も子育て支援の取組について周知を図るとともに、I ターンされた方の感想や事例を引き続き広く紹介し、移住希望者のニーズに応じた情報発信となるよう工夫してまいります。</p>

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見

- ・子育て支援センターは働いている人が利用できる時間帯ではない。働いている人が、休日に子どもと一緒に過ごせる場所、リフレッシュする場所があると、子どもと一緒に出かけることができると思う。
- ・アンテナの高いお母さんは自分で学んでいくが、そうでない方には乳児検診の時などに学ぶ機会を作っていけば、子どもたちの発達にも結びつく。
- ・出産に関して病院のHPがなく、病院の善し悪しや出産後の定期検診等の情報が分からないのが不安。周りに浜田での出産経験者がいなくて、情報を得ることもできない。

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

※ なし